

3/23上映会レポート

・今回で最後という上映会。今回は今までより宣伝も地味にやってきましたので、「本当にお客さまは来て下さるのだろうか?」と疑問に思いつつ会場準備をしておりましたが、最終的には38名の入場で、作品を上映して下さった監督の皆様にもなんとか御安心頂けたかもしれません。(なんとと言っても、前回「青島マテルダ」のDVDが割れると言う物凄くトラブルで上映不可能となり、これ目当てで来場のお客さまに御迷惑をおかけした前例もありましたので。)今回は松梨監督からオリジナルのコメントを頂き、会場にて配布させて頂きました。

「パワーに圧倒された」「美しく、そして凄まじい」と、なるほどな反応が、
・静かな人気を誇る「じーっとみてるさわりたくなっちゃうね」は、やはり女性に好評。アンケートでも「登場人物がみな優しい」と好評でした。
・そして1部に絶大な人気を誇る河田監督の「なんて世の中だ。」は、強い!初めて御覧になる方が以外に多く、「前の作品も是非みたい!」という方も、
・こういう物は、くり返し上映して行く必要もあるのかもしれない。



▲今回お手伝い頂いた小畑佳奈様。本当にありがとうございました。



▲当日の会場内。和気あいあい(笑)な雰囲気でした。



▲当日会場のドアでした。

・「月島狂奏」は、この作品は何時からですか?という問い合わせの電話が何本かあったことからも分かるように、強い吸引力があるようです。ただ、会場が若干音声を強く反響するらしく、そのせいで「よくわからなかった」というお客さまもいらっしゃいました。今後の反省点として考えるべき所でした。

・「月島狂奏」の前には、4月に上映会を行う門馬文雄監督の「東京」という作品の予告編も上映されました。こういった仙台の作品を、これからも上映できればと思います。

ショートピース!

仙台短篇映画祭2003

応募作品募集中! / 5月10日まで!

応募先

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク7階 仙台短篇映画祭実行委員会
コンペティション係
応募用紙は配布中のチラシ、またはHPから入手!

応募作品について

- 2002年以降に制作された「短篇映画」を募集します。
- オリジナル形式はフィルム(8mm, 16mm, 35mm)、ビデオ(VHS、S-VHS、ベータカム、DV)とし、応募は、ひとり作品のみとします。
- 1次審査への応募は、VHSまたはS-VHSテープでお送りください。
- 2次審査は、オリジナル形式による審査になります。1次審査を通過者には、後日、作品のオリジナルフォーマットの郵送についての連絡を差し上げます。(2次審査のための郵送料は実行委員会が負担。)
- 過去に他の映画祭で受賞された作品の応募も受け付けております。(その場合出品した映画祭の名称、年度などを必ず明記。また、本映画祭での上映に関する権利等の調整・手続きを済ませてください。)
- 映画内での言語が日本語以外の場合は、日本語もしくは英語の台本を添付して送付してください。

応募作品

1次審査に出品されたビデオ、書類一式は返却しません。2次審査以降の郵送料は実行委員会が負担します。上映作品の途中撤出は認めません。

出品料1000円

郵便局窓口にて出品料1000円分の「定額小為替」を購入し、応募用紙・作品に同封して郵送してください。小為替の発行には手数料がかかります。なお、出品料は作品の受付証、審査結果や映画祭のご案内などの郵送料をはじめとする経費として使用させていただきます。

■<http://www.shortpiece.com/>から、まず応募用紙を入手!



▲まずはこのチラシを入手!

ここしば5くの インディーズ情報

(不特定)

■3月21日(金) 東北学院大学映画部 第50代執行部上映会 学生上映会

上映: 昼1時から夜8時くらいまで
詳しいタイムテーブルはまだ決まっていますが、50代執行部の制作した作品は全て上映する予定とのこと。

上映: 昼1時から夜8時くらいまで
メディアテーク7階スタジオシアター
<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/1524/>

■3月30日(日) オレンジジュースフィルム制作上映会 「ライド・ドリーム・ドリーバース」

在仙の映像作家である高橋監督が制作した映画を上映。 観料金 300円
■13:00/15:00/17:00/19:00
■メディアテーク 7F スタジオシアター

■4月6日(日) Short Films 門馬文雄 短篇映画作品集

■入場無料 ■13:00/15:30/18:00
■メディアテーク 7F スタジオシアター

■5月(予定) 「若者の映画プロジェクト」

97年に宮城教育大映像研究会ZOOMY出身で、現在映像分野などで活躍中の083人が上映会を開催予定。場所、詳しい日時などは未定。

<http://www2.odn.ne.jp/~cad28780/>



AKAIRAI O-HOLIC GARDEN PROJECT第一回興行

「兆」

(きざし)

仙台で活動している映像作家を支援し育成する、映像作品を他にはない独自のテーマに沿って紹介する、という2つの目的を持ってAKAIRAI O-HOLIC GARDEN PROJECTは設立されました。ただ上映会を催して映像作品を流すのではなく、制作者同士の/制作者と観客の/観客同士の/間にコミュニケーションの成り立つ場を上映会の内外にもうけ、映像作品をめぐる批評・感想といった「おしゃべり」が自由にできる環境を整えることで制作者の意欲向上と観客のあらたな視点の獲得に寄与していこうと考えています。第1回目の主催イベントとなる「兆」では、仙台の若手映像作家の特集上映を行います。

■5月17日 13時~19時 せんだいメディアテーク7Fスタジオシアター

■入場無料 ■a-kairai@zf7.so-net.ne.jp (すすき)

上映予定作品

- 『キャラメル』佐々木康弘 (2001)
- 『雲りの日に踊りましょう』佐藤油子 (2002)
- 『Tautology Lesson』鈴木直樹 (2002)
- 『パーカッション』藤本宏樹 (2003)
- 『それゆけウィルスガール』小澤慶太郎 (2003)
- 『コエ』サトウユウソウ (2003)
- 『パファリンあそび』佐藤剛彦 (2003)
- 『ウォーターサーチャー』華氏クス子 (2003) / 他



▲「コエ」より ▲「パーカッション」より ▲「パファリンあそび」より

あなたの映画を上映しませんか?

ピックアップ上映!

- 「インディーズ」の上映前後のあいた時間を利用して、作品を上映したいという監督さんを募集しております。
- 1/当日の上映会の運営をお手伝いしていただける方。
- 2/上映作品の宣伝及び上映を御自分でできる方。
- ・・・という2点が条件となります。基本的にどんな作品でも上映できるのですが、一応事前にスタッフに内容確認させていただけると助かります。
- くわしいお問い合わせは、奥村の住所までお願いします!

インディーズムービー・ステーション 上映会場についてのおわび

- ・会場のAVルームは、定員35名の小さな部屋で、「場所が分かりにくい」「背もたれがなくて見にくい」いった意見が聞かれます。大変申し訳ございませんが、どうか御容赦下さい。
- ・不安な方は事前のお問い合わせをお願いいたします。

《記事・企画・情報募集中》

- 映画スタッフ・キャストの募集など、作品のキャスト・スタッフ募集など、出演希望の方も良いかもしれません。
- 情報募集
映像を制作している方や、上映会の情報など、「インディーズ・ムービー」に掲載する情報を募集しています。

インディーズムービー・ステーション の上映システム



RASFLMでは、何ヶ月か映画をより多くの皆さんに鑑賞していただくため、日程の都合がつかずご来場いただけなかった方などのために、作品群を翌々月も上映しておりますのでお気軽にご来場ください。

ただし、かなりアバウトなタイムテーブルですので、当日急な変更などがあるかもしれませんが、どうか広い心でお許し下さい。ほんとにすいません。